



平成30年10月18日

各 位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
代表者名 代表取締役社長 長井 啓
(コード番号：6324)
問合せ先 取締役 丸山 顕
執行役員 上條 和俊
TEL03-5471-7810

第2四半期受注高・売上高実績(単体)について

当社の平成31年3月期第2四半期(平成30年7月1日～平成30年9月30日)の受注高・売上高実績(単体)を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 受注高実績

(金額単位:百万円)

区 分 製品区分	第2四半期			第1～第2四半期累計	
	金 額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)	金 額	前年同期 比 (%)
減 速 装 置	5,250 (1,300)	40.8 (39.2)	66.5 (98.5)	13,150 (2,621)	45.2 (30.4)
メカトロニクス製品	933 (414)	54.1 (52.8)	56.7 (73.9)	2,579 (975)	73.7 (64.7)
合 計	6,183 (1,715)	42.4 (41.8)	64.8 (91.2)	15,730 (3,596)	48.3 (35.5)

注)括弧内の数字は輸出受注高であります。

2. 売上高実績

(金額単位:百万円)

区 分 製品区分	第2四半期			第1～第2四半期累計	
	金 額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)	金 額	前年同期 比 (%)
減 速 装 置	11,392 (2,133)	138.5 (85.0)	106.2 (77.7)	22,124 (4,876)	142.9 (118.4)
メカトロニクス製品	1,529 (523)	113.0 (93.0)	97.1 (79.9)	3,104 (1,179)	126.7 (121.2)
合 計	12,921 (2,657)	134.9 (86.5)	105.0 (78.2)	25,229 (6,056)	140.7 (119.0)

注)括弧内の数字は輸出売上高であります。

3. 第2四半期の概況

- (1) 当第2四半期の受注高は61億83百万円となり、前年同期比、前四半期比ともに減少しました。
- (2) 用途別の受注動向につきましては、前年同期比、前四半期比ともに、石油掘削装置向けは増加しましたが、産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、金属工作機械向け、モーターメーカー向けギアヘッドをはじめ、主要用途向けが全般に減少しました。

- (3) 受注高の減少は、中国では米中の貿易摩擦の影響などによる設備投資の手控えが見られることに加え、その他の地域でも半導体の設備投資計画の延期などが見られる中、家電・通信・コンピューター業界で使われる小型ロボット向け、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け減速装置に対する発注調整が継続したことが主な要因です。当該調整は、前年度において当社に対し旺盛な長納期先行発注をかけて下さっていたお客様及び代理店各社が、足下の需要動向、当社製品の在庫水準や発注残高、加えて当社の生産能力増強により納期が改善されつつある状況等を勘案した結果、発注調整を行った影響が大きいものと推定しております。
- (4) 当第 2 四半期において、前四半期以前の受注分のうち、一部のお客様の生産計画変更などを主因とした先行発注品に対する受注の取り消しが 18 億 58 百万円発生しておりますが、これによる受注残高の減少は限定的であり、受注残高は引き続き高い水準を維持しております。なお、当第 2 四半期における受注活動の結果と実需を適切に表すため、上記の受注実績は当該取消し額を差し引く前の金額を記載しております。
- (5) 輸出受注高も前年同期比、前四半期比ともに減少しました。地域別では、前年同期比では韓国、中国、北米、欧州向けをはじめ全ての地域において減少しました。前四半期比では、北米向け、韓国向けは減少しましたが、欧州向けは横ばい、中国向けは増加しました。
- (6) 当第 2 四半期の売上高は、前年度から取り組んでいる設備投資や人員増強などによる生産能力引き上げ策が奏功し、前年同期比では 34.9%増加、前四半期比では 5.0%増加の 129 億 21 百万円となり、四半期ベースにおける過去最高額となりました。

本資料に記載の数値は、会計監査人による監査を受けておりませんので、正式な決算数値とは差異が生じる可能性があります。